JB シリーズ

タカギ　混合栓施工説明書

takagi

蛇口一体型浄水器みず工房グース

■施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
■ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
■施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
■給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上のご注意

本品を安全に正しくお使いいただく前に

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

⚠注意　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は、禁止行為であることをお知らせするものです。図の中や近くに具体的な「禁止」内容を示しています。

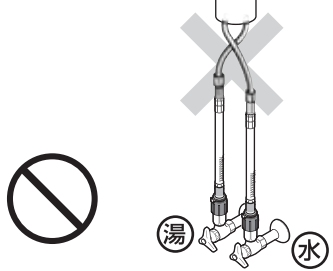
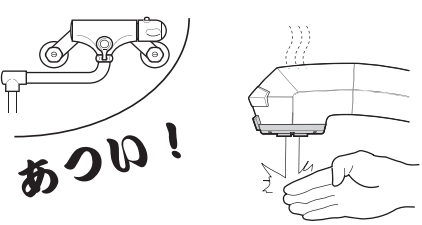
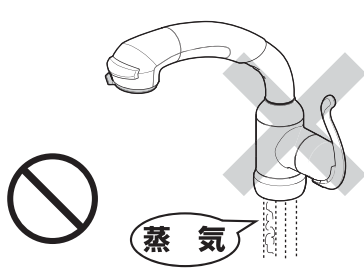
❗記号は、必ず実行していただくものです。図の中や近くに具体的な「強制」内容を示しています。

⚠警告

・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
・故障や水漏れの原因になります。修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。

⚠注意

やけどをするおそれがあります

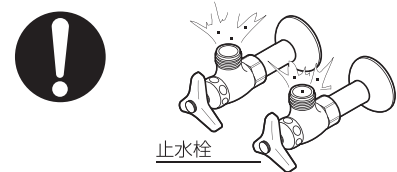
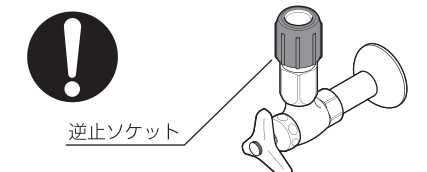
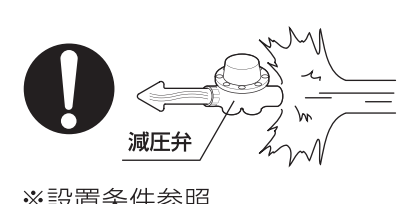
●湯水を逆に配管しないでください。

●他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯温が使用中に急上昇することがあります。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●60℃を超える高温でご使用になると器具が破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。また、誤操作によるやけど防止のため、給湯温度は60℃を超える高温で使用しないでください。

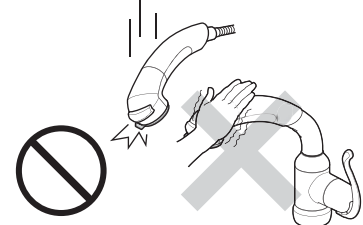
湯・水が噴き出てやけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

●水抜き継手を開けると高温の湯が出るおそれがあります。事前に吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

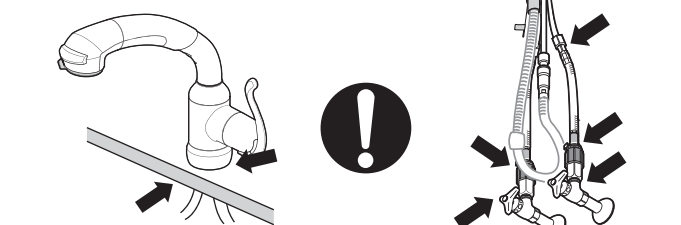
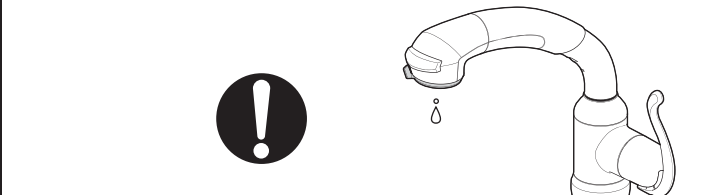
⚠注意

水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

●新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。

●止水栓に逆止ソケットを取り付けた際、充分にシールされていることを確認してください。

●高水圧地区では減圧弁を設置してください。

※設置条件参照

●製品を落としたり、強い力や衝撃を与えたりしないでください。

●水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかり固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓が傾いたり、水漏れが発生する可能性があります。

●定期的に止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていないと、万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行えない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓（点検口）を設置してください。

●施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。

●冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。

⃠ **温泉水など、異物を多く含む水には使用できません**　※給水は上水道に接続してください。

外観寸法図

部品の確認

水量調整及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
※ネジ規格はG1/2です。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

設置条件

■水圧条件	■給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa〜静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。推奨圧力は静水圧0.2MPa〜0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧してください。但し、給湯圧力は給水圧より高くならないように設定してください。 ■給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

※給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。

1.施工方法

※新設の場合は「1-❷上面施工ユニットの取り付け」に進んでください。

1-❶水道配管の止水栓を閉める

止水栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、止水栓を右にまわして閉めます。
※一部の地域では左まわしの場合もあります。

●キー式

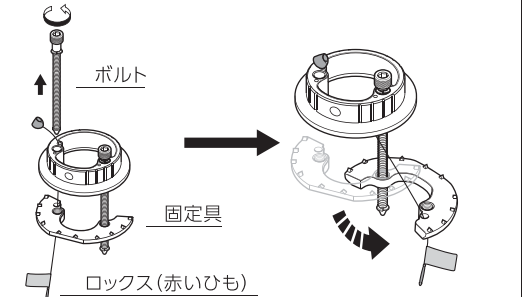
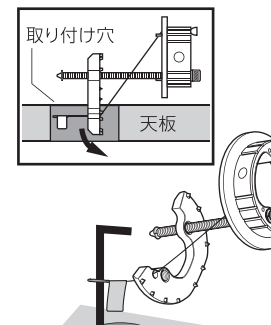
●ハンドル式

●マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス

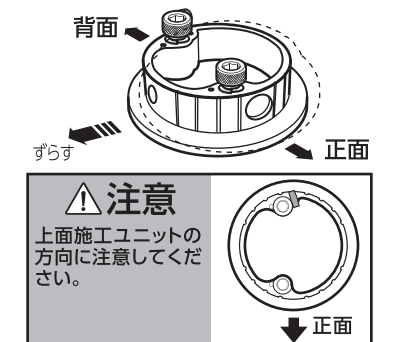
1-❷上面施工ユニットの取り付け

取り付け穴に上面施工ユニットを差し込み、固定します。

①ロックス（赤いひも）側のボルトをはずし、固定具を180°回転させます。

⚠注意　ロックス（赤いひも）は切らないでください。その後の施工ができなくなります。

②取り付け穴にいれます。

③ロックス（赤いひも）を引っ張り、固定具の位置を合わせます。【③-1】
はずしたボルトを挿入し、軽く締め込みます。【③-2】

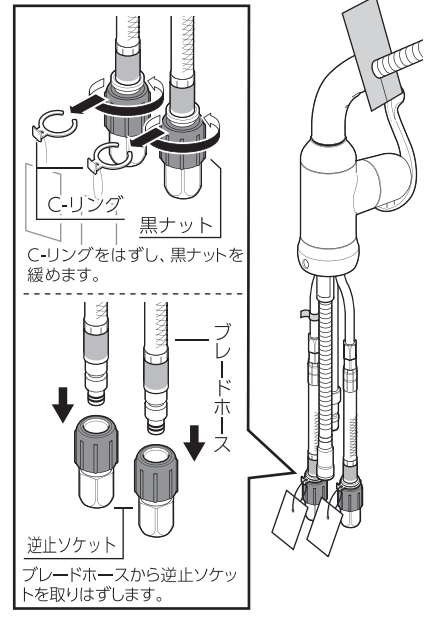
④取り付け穴の手前に当たるまでずらして芯を合わせてください。

⚠注意　上面施工ユニットの方向に注意してください。

⑤上面施工ユニットを手前に押し当てた状態で、六角レンチ（4㎜）でボルトを左右均等に締めます。【⑤-1】
さらに六角レンチを横にして、ボルトを1回転増し締めし、上面施工ユニットを確実に固定します。【⑤-2】

※台座部に30°から15°毎にミゾをつけています。このミゾを目安に角度をふって蛇口を取り付けることができます。（キッチンのコーナーに取り付け穴があるタイプ）

⚠注意　上面施工ユニットを正しく取り付けないと本体部の固定強度が低下し、本体部にガタが発生する不具合の原因となります。

1-❸ブレードホースから逆止ソケットを取りはずす

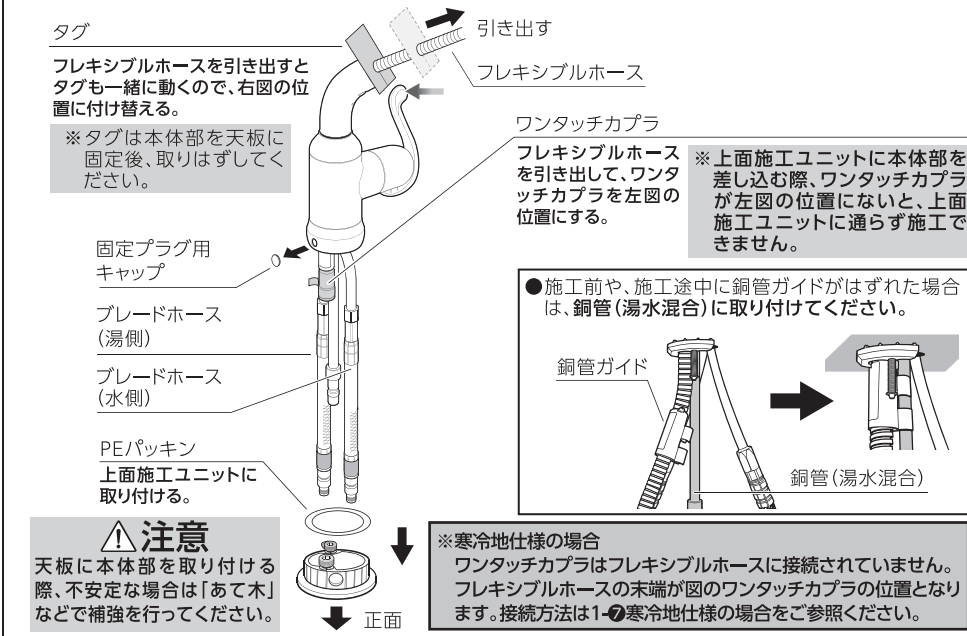
水・湯側のブレードホースから逆止ソケットを取りはずします。

1-❹水栓本体の取り付け

①本体部から固定プラグ用キャップをはずし、上面施工ユニットにPEパッキンを取り付けます。その後、フレキシブルホースを引き出し、ワンタッチカプラを下図の位置にします。また、ワンタッチカプラの位置を維持するためタグを下図の位置に付け替えておきます。

※上面施工ユニットに本体部を差し込む際、ワンタッチカプラが左図の位置にないと、上面施工ユニットに通らず施工できません。

●施工前や、施工途中に銅管ガイドがはずれた場合は、銅管（湯水混合）に取り付けてください。

⚠注意　天板に本体部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。

※寒冷地仕様の場合
ワンタッチカプラはフレキシブルホースに接続されていません。フレキシブルホースの末端が図のワンタッチカプラの位置となります。接続方法は1-❼寒冷地仕様の場合をご参照ください。

②本体部のレバーハンドルの位置を【図1】の状態にし、上面施工ユニットに差し込みます。（※この時、湯/水両方の銅管を内向きに束ねるように幅を狭めてから差し込みます。）

<ポイント>
①上面施工ユニットに通りやすいように銅管を狭める。
②正面から見て、本体部のレバーハンドルがやや斜め後ろに向いた状態にして差し込む。

〈シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安〉

壁掛けの場合：ショートタイプ水受けボックス設置の目安

天板 Ⓐ 90mm 251mm 床面

(注意:設置位置Ⓐには天板の厚みが含まれています。)

設置位置一覧表

【ショートタイプ水受けボックスの場合】

	フレキシブルホースの長さ	設置位置Ⓐ	ホースストッパー位置Ⓑ
通常仕様	1100mm	340mm	400mm
寒冷地仕様	1100mm	360mm	440mm

ホースストッパー位置

ホースストッパー Ⓑ

フレキシブルホースのセッティングの仕方
(ショートタイプ水受けボックス、ロングタイプ水受けボックス共通)

通常仕様の場合　寒冷地仕様の場合

壁掛けの場合：ショートタイプ水受けボックス設置の仕方

据え置きの場合：ロングタイプ水受けボックス設置の仕方

①両面テープでの固定の仕方

片面の剥離紙を剥いだ両面テープを水受けホルダーの裏面突起部(ブレ一部分)に接着します。

しっかり接着したことを確認し、残りの剥離紙を剥ぎます。

パネル(ボード)に接着します。
※パネル(ボード)の汚れや油分をよく拭いた上で接着してください。

水受けボックスを水受けホルダーにハメ込みます。

②水受けホルダーの底面をビスで固定する場合

水受けホルダーをパネル(ボード)上にセットします。

⊕ドライバーでビスを固定します。

③水受けホルダーの側面をビスで固定する場合

水受けホルダーを壁側にセットします。

⊕ドライバーでビスを固定します。

水受けボックスを水受けホルダーにハメ込みます。

フレキシブルホースの収納と水受けボックスの取りはずし方

【収納】

フレキシブルホースを図のように収納します。

【取りはずし】

図のようにして水受けボックスを取りはずします。
無理に水受けボックスを取りはずさないでください。
水受けホルダーがはずれます。
(両面テープのみでの固定の場合、特に注意してください。)

1-⓬ホースストッパーを取り付ける

フレキシブルホースをはさみ込みます。

ホースストッパー位置は1-⓫の〈シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安〉をご参照ください。
※ロングタイプ水受けボックスの場合は、キッチンのタイプに応じてホースストッパーの位置を決めて取り付けてください。

【取り付け上の注意】
浄水器部の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らない可能性があります。フレキシブルホースが元の位置に戻るように、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。なお、水受けボックスをご使用の場合は、フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスの中に入っているようにホースストッパーの位置を調節してください。

2.取り付けが終わったら

2-❶引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

スパウトホルダーを左右に動かして浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。フレキシブルホースがスムーズに出し入れできない場合は、給水・給湯の銅管部を左右に広げてフレキシブルホースの通る空間を確保してください。

2-❷止水栓で適量の流量に

レバーハンドルの湯水表示中央をマークまで戻した位置で全開にして適温の湯が出るように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。

2-❸各接続部の水漏れがないかをチェックする

施工完了後は、配管接続部、逆止ソケットおよび水栓から水漏れのないことを確認してください。

2-❹本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、本体下カバーの固定プラグ用キャップをはずし、六角レンチ(4mm)でセパレートユニット固定プラグを増し締めし、本体下カバーの固定プラグ用キャップをハメ込んでください。その後、本体下カバーを回して隠してください。

■アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上のご不明点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター
通話料無料 0120-328-413
24時間電話受付(年中無休)

製造元 株式会社 タカギ
http://www.takagi.co.jp/